# 年 令和4年度 血液事業の現状

### ごあいさつ 一令和4年度血液事業の概要―

血液事業推進にご協力いただいている皆様に衷心より感謝申し上げます。

岩手県赤十字血液センター令和4年度の血液事業の現状につき、ご報告申し上げます。

令和4年度も新型コロナウィルス感染症の猛威が続きました。コロナ感染症拡大防止の観点から外出を控える方が多く、血液事業にまつわる環境にはかなりの逆風が吹きました。献血にご協力いただく方のみならず、職員、健診担当医師にも感染あるいは濃厚接触者になる方が増えて参りましたが、スタッフ一同、採血事業が滞ることがないよう協力し、難局を乗り越えて参りました。まさに危機管理の大切さを身にしみて感じた1年間になりました。

当センターにおける血液事業は、多くのドナーの善意により維持されている採血事業と多くの患者さんのために医療機関にお届けする血液製剤供給部門の2つがあり、そのバランスの上に事業が成り立っています。ウィズコロナの時代に入り、医療機関がコロナに特化した感染症対策医療から通常医療にシフトし始めると減少気味であった手術等が増加します。血液製剤には寿命がありますので、血液製剤供給が増加すると採血量もそれに合わせて増加しなければなりません。採血事業の拡大の際には献血バスの配車先の企業・行政との連携、ご協力が大事になります。併せて地域の献血者への広報に多くの方のご協力を頂いております。感謝申し上げる所以です。

献血者状況についてご報告します。全血献血は200mL・400mL献血を合わせ30,585人(前年度比98.4%)、成分献血は12,519人(前年度比93.3%)、合計で43,104人(前年度比96.9%)の方にご協力を賜りました。

献血においでいただくドナーのお待ちいただく時間の短縮、新型コロナウィルス感染の危険性の回避、密になりにくい待合室環境を目的として献血予約の推進に力を入れました。ドナーのご協力により、令和4年度初めに比較しますと、予約率は48.0%から53.0%と増加してまいりました。複数回献血者予約サイトである「ラブラッド」登録者は、前年度16,618名から令和4年度末には20,086名と3,468名増加しました。ブラウザから使用していたラブラッドは令和4年度中ごろからリニューアルされてアプリ化されました。予約が便利になると共に、事前Web問診回答機能が新たに導入され、より使用しやすいアプリとなりました。

若年層への普及啓発を目的として、例年、小学生とその保護者を対象に夏休み時期に開催してきた「親と子の血液センター見学会」は、新型コロナウィルスの感染拡大の影響を受けて3年続けてやむなく中止となりました。クリスマス献血、バレンタイン献血に係る広報を通じて若年層への献血啓発に力を入れました。

県内94の医療機関への供給状況は、赤血球製剤29,759本(前年度比102.7%)、血漿製剤7,413本(前年度比106.3%)、血小板製剤7,628本(前年度比108.6%)、合計で44,800本(前年度比104.3%)を供給しました。従来からのFAXを用いた受注方法をWeb受注方式に切り替えておりましたが、令和6年度からはWeb受注方式に全面移行する予定です。医療機関のご協力をお願い申し上げます。

今後とも、関係団体との連携や協力団体への更なるお願いと広報の強化や「ラブラッド」の普及による献血予約の向上を図り、目標の確保に努めたいと考えております。 関係各位の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

> 岩手県赤十字血液センター 所長 増田 友之

## 目次

01 3	安全な血液製剤の安定供給の		Ⅲ 学術・品質情報の概要	
	確保等に関する法律(血液法)の概要	1	01 医薬情報活動の状況	26
02 方	施設紹介————————————————————————————————————	2	02 医療機関からの検査依頼状況-	26
I 献	ぱ血の概要		IV 骨髄ドナー登録の概要	
01	令和4年度献血状況	4	01 岩手県の骨髄ドナー登録者数	27
02	献血者数の推移	-5	02 令和4年度新規登録状況	27
03	市町村別、保健所別献血状況	8		
04	高等学校内における献血状況	9	V 令和4年度の活動状況	
05	献血Web会員サービス		01 令和4年度の動き	28
	「ラブラッド」の普及	10	02 学会発表	29
06	リラクセーション等参加者数	11		
07	献血ルーム曜日・祝日別献血者数	11	VI 令和5年度の活動方針・推進計画	
08	献血者における検査サービスの		01 献血目標について	32
	基準値外を示す割合	12	02 岩手県献血推進計画	33
09	献血者における検査不合格者の割合	13	03 市町村別献血目標	37
10	献血の普及啓発	14		
11	ボランティアの参加状況	15	参考資料	
12	献血表彰	16	岩手県献血推進要綱	38
13	献血団体及び献血推進団体	17	岩手県献血推進協議会設置要綱	38
			岩手県合同輸血療法委員会設置要綱	40
Ⅱ供	は給の概要			
01	供給状況	22		
02	献血区分別供給状況	23		
03	保健所管内供給実績	24		
04	HLA適合血小板供給数	24		
05	岩手県地区別供給数	25		

## 01 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)の概要

### ◆目的(第1条)

この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

#### ◆基本理念(第3条)

- ① 安全性の向上
- ②献血による
  - ・国内自給の原則
  - ・安定供給の確保
- ③ 適正使用の推進
- ④ 血液事業の運営に係る公 正の確保及び透明性の向上

### ◆ 関係者の責務 (第4条~第8条)

基本理念にのっとり、

【国】安全性の向上・安定供給の確保に関する基本的 かつ総合的な施策の策定・実施

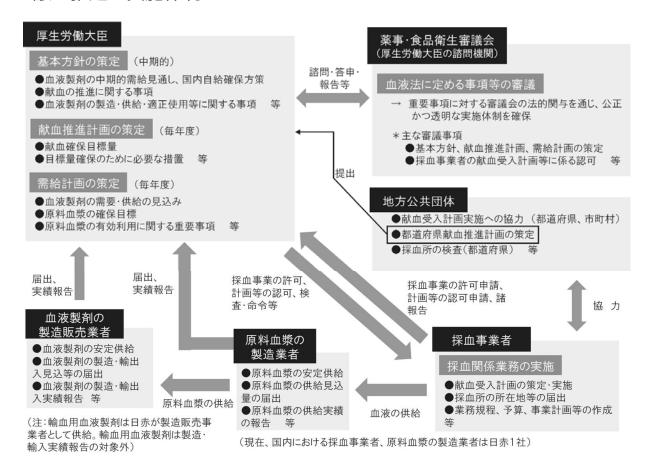
【地方公共団体】献血に関する住民の理解、献血受入 を円滑にするための措置

【採血事業者】献血受入の推進、安全性の向上・安定 供給確保への協力、献血者等の保護

【原料血漿の製造業者等】安全な原料血漿並びに血液 製剤の安定的・適切な供給、安全性向上のための技 術開発と情報収集・提供

【医療関係者】適正な使用、安全性に関する情報収集・ 提供

### 献血推進の実施体制



## 02 施設紹介

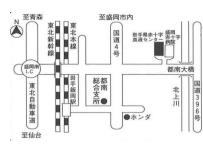
### 岩手県赤十字血液センター

〒020-0831

岩手県盛岡市三本柳6地割1番地6

TEL 019-637-7200 FAX 019-637-4371





### 岩手県赤十字血液センター盛岡大通り出張所

〒020-0022

岩手県盛岡市大通り2丁目3-7「CT33」4階

TEL 019-653-6511

FAX 019-653-6558

フリーダイヤル 0120-133-343

### 献血受付時間

成分献血(血小板・血漿) 10:00~12:00/14:00~17:00 全血献血(400mL・200mL) 10:00~12:45/14:00~17:45

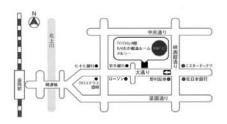
定 休 日 12月31日 1月1日



## もりおか献血ルームメルシー morioka blood donation room







### 岩手県赤十字血液センター奥州供給出張所

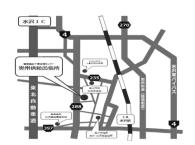
〒023-0062

岩手県奥州市水沢字小石田66-4

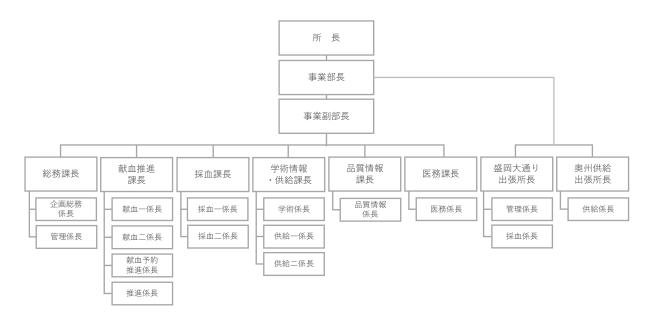
TEL 0197-47-4827

FAX 0197-47-4874





### 岩手県赤十字血液センター組織図



### 献血受入施設・車両の推移

	血液センター	採血出張所(ルーム)	車両							
			献血バス	検診車	血液運搬車	器材運搬車	送迎車	乗用車	計	
令和元年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30	
令和2年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30	
令和3年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30	
令和4年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30	
令和5年度	0	1	4	2	10	2	1	7	26	

### 職員数の推移

					その他				
	医師	薬剤師	検査技師	看護師	医療職	事務職員	計	正職員	再雇用・ 嘱託職員
令和元年度	7	3	1	23	0	43	77	49	28
令和2年度	7	1	1	24	0	44	77	50	27
令和3年度	7	1	1	23	1	44	77	50	27
令和4年度	6	1	1	24	1	41	74	48	26
令和5年度	6	1	2	21	1	45	76	44	32

## 01 令和4年度献血状況

### 01-1 献血者数

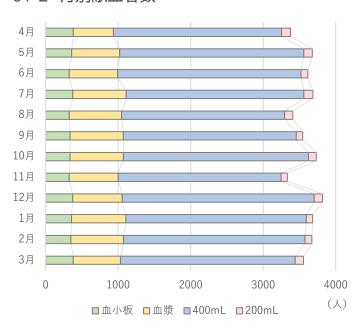
01-1 南太川		(人)			
成分	献血	全血	合計		
血小板	血漿	400mL	200mL	⊔ вт	
4,228	8,291	29,318	1,267	43,104	

### <参考> 東北ブロック管内の献血者数 血小板 37,280人 血漿 69,283人 223,846人 338,387人

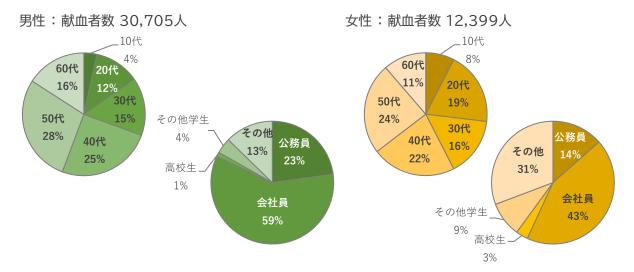
### 01-3 施設別献血者割合



### 01-2 月別献血者数



### 01-4 男性、女性献血者の年代別、職業別割合



## 02 献血者数の推移

### 02-1 直近5年間の献血者の推移 ※下部グラフ参照

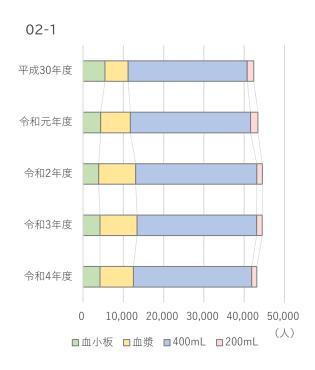
(人)

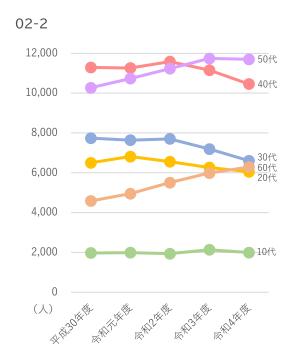
	成分	献血	全血	合計	
	血小板	血漿	400mL	200mL	⊔ві
平成30年度	5,468	5,754	29,512	1,629	42,363
令和元年度	4,364	7,393	29,826	1,813	43,396
令和2年度	3,907	9,155	30,046	1,416	44,524
令和3年度	4,203	9,208	29,686	1,384	44,481
令和4年度	4,228	8,291	29,318	1,267	43,104

### 02-2 直近5年間の年代別献血者数の推移 ※下部グラフ参照

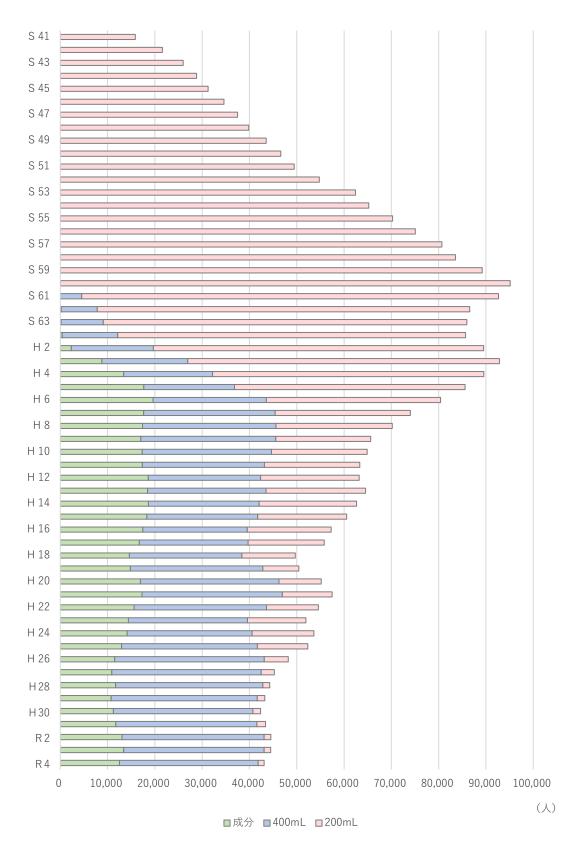
(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
平成30年度	1,973	6,501	7,741	11,293	10,270	4,585
令和元年度	1,992	6,817	7,638	11,264	10,734	4,951
令和2年度	1,939	6,559	7,702	11,586	11,233	5,505
令和3年度	2,137	6,267	7,193	11,154	11,743	5,987
令和4年度	1,994	6,053	6,605	10,461	11,703	6,288





### 02-3 年度別献血者数の推移



### 02-4 献血受付者数、献血者数、献血ができなかった人数の推移

(人)

			平成30	)年度	令和元	;年度	令和2	年度	令和3	年度	令和4	年度
		男	32,9	11	34,1	29	34,284		34,1	20	32,5	93
受付	者数	女	14,6	16	15,459		16,126		15,923		15,472	
		計	47,527		49,588		50,4	10	50,0	43	48,0	65
		男	31,523	(95.8%)	30,555	(89.5%)	31,414	(91.6%)	31,987	(93.7%)	30,705	(94.2%)
献血	者数	女	11,698	(80.0%)	11,808	(76.4%)	11,982	(74.3%)	12,494	(78.5%)	12,399	(80.1%)
		計	43,221	(90.9%)	42,363	(85.4%)	43,396	(86.1%)	44,481	(88.9%)	43,104	(89.7%)
		男	336	(1.0%)	320	(0.9%)	435	(1.3%)	530	(1.6%)	478	(1.5%)
	血色素	女	1,379	(9.4%)	1,214	(7.9%)	1,527	(9.5%)	2,010	(12.6%)	1,852	(12.0%)
	糸	計	1,715	(3.6%)	1,534	(3.1%)	1,962	(3.9%)	2,540	(5.1%)	2,330	(4.8%)
	服薬	男	187	(0.6%)	188	(0.6%)	201	(0.6%)	155	(0.5%)	148	(0.5%)
		女	80	(0.5%)	71	(0.5%)	125	(0.8%)	78	(0.5%)	89	(0.6%)
献		計	267	(0.6%)	259	(0.5%)	326	(0.6%)	233	(0.5%)	237	(0.5%)
がで		男	761	(2.3%)	1,067	(3.1%)	1,147	(3.3%)	625	(1.8%)	517	(1.6%)
きなか	問診	女	383	(2.6%)	551	(3.6%)	626	(3.9%)	391	(2.5%)	327	(2.1%)
血ができなかった人数		計	1,144	(2.4%)	1,618	(3.3%)	1,773	(3.5%)	1,016	(2.0%)	844	(1.8%)
人数		男	815	(2.5%)	781	(2.3%)	932	(2.7%)	823	(2.4%)	745	(2.3%)
	そのか	女	1,193	(8.2%)	972	(6.3%)	1,199	(7.4%)	1,090	(6.8%)	805	(5.2%)
	他	計	2,008	(4.2%)	1,753	(3.5%)	2,131	(4.2%)	1,913	(3.8%)	1,550	(3.2%)
		男	2,099	(6.4%)	2,356	(6.9%)	2,715	(7.9%)	2,133	(6.3%)	1,888	(5.8%)
	総数	女	3,035	(20.8%)	2,808	(18.2%)	3,477	(21.6%)	3,569	(22.4%)	3,073	(19.9%)
		計	5,134	(10.8%)	5,164	(10.4%)	6,192	(12.3%)	5,702	(11.4%)	4,961	(10.3%)

<sup>※ %</sup>は、受付者数の男・女・計それぞれに対する割合である。

## 03 市町村別、保健所別献血状況

	400mL 献血者数	200mL 献血者数	献血者数	目標達成率	稼働台数 (日数)
盛岡圏域	7,941	319	8,260	97.0	216
盛岡市保健所	5,046	253	5,299	97.5	138
<b>県央保健所</b>	2,895	66	2,961	96.2	78
雫石町	137	0	137	78.7	4
滝沢市	1,004	46	1,050	107.3	27
紫波町	432	6	438	90.9	12
矢巾町	560	6	566	92.4	16
葛巻町	176	1	177	135.2	3
岩手町	213	2	215	82.0	6
八幡平市	373	5	378	86.3	10
中部保健所	5,095	136	5,231	100.6	130
花巻市	2,034	55	2,089	96.7	52
遠野市	501	8	509	96.7	14
北上市	2,497	73	2,570	105.9	62
西和賀町	63	0	63	72.4	2
奥州保健所	3,392	76	3,468	106.6	85
奥州市	2,889	65	2,954	106.6	72
金ケ崎町	503	11	514	106.3	13
一関保健所	2,916	87	3,003	97.2	72
一関市	2,828	84	2,912	98.5	69
平泉町	88	3	91	68.6	3
大船渡保健所	1,167	21	1,188	90.2	32
大船渡市	733	18	751	85.3	21
陸前高田市	371	1	372	106.8	9
住田町	63	2	65	73.6	2
釜石保健所	739	13	752	85.7	22
釜石市	641	10	651	87.4	19
大槌町	98	3	101	76.2	3
宮古保健所	1,484	46	1,530	96.2	38
宮古市	1,046	27	1,073	101.5	26
山田町	269	7	276	89.5	7
岩泉町	130	7	137	76.7	4
田野畑村	39	5	44	95.4	1
久慈保健所	934	35	969	84.1	26
久慈市	694	26	720	85.5	19
普代村	25	0	25	57.5	1
洋野町	141	6	147	82.8	4
野田村	74	3	77	86.8	2
二戸保健所	995	61	1,056	94.3	27
二戸市	714	56	770	94.8	20
軽米町	99	1	100	114.4	2
九戸村	80	1	81	92.5	2
一戸町	102	3	105	79.3	3
市町村計	24,663	794	25,457	97.5	648
献血ルーム	4,655	473	5,128	91.7	363
合 計	29,318	1,267	30,585	96.5	1,011

## 04 高等学校内における献血状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
献血実施校生徒数	14,125	12,520	10,849	7,529	8,088
献血受付者数	351	363	344	275	278
400mL献血者数	256	263	265	205	223
200mL献血者数	17	21	19	19	10
献血者数 (合計)	273	284	284	224	233
献血ができなかった人数	78	79	60	51	45
献血率	1.9%	2.3%	2.6%	3.0%	2.9%



### 実施校数の推移



- ※ 平成28年度から400mL献血を推進したため、献血申込者数と実施校数が減少した。
- ※ 実施校数には、定時制のみの学校は含まない。

## 05 献血Web会員サービス「ラブラッド」の普及

### ラブラッド会員登録者数





### ラブラッド会員への依頼に対する応諾率



	依頼数 (人)	応諾数 (人)	応諾率
平成30年度	20,359	2,103	10.3%
令和元年度	38,918	2,635	6.8%
令和2年度	70,411	4,135	5.9%
令和3年度	114,133	6,183	5.4%
令和4年度	185,728	9,253	5.0%

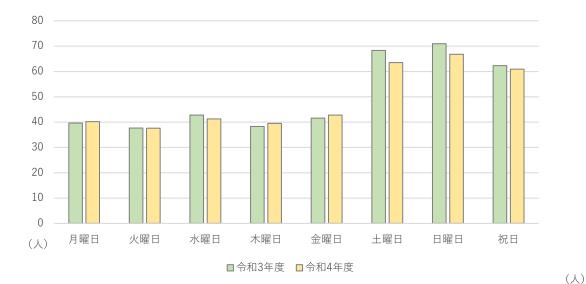
## 06 リラクセーション等参加者数



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
リラクセーション	353	_	_	_	
ハンドエステ	94	_	_	420	
ハンドトリートメント	29	_	_	-	

<sup>※</sup> 献血ルームで実施しているリラクセーション等のサービスは、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策として中止した。令和4年度においても、リラクセーションとハンドトリートメントは実施しなかった。

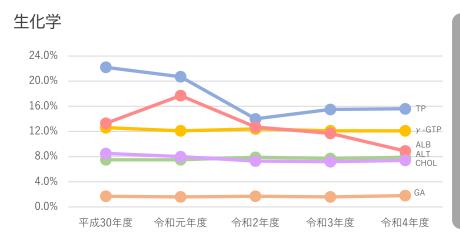
## 07 献血ルーム曜日・祝日別平均献血者数



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日
令和3年度	39.6	37.7	42.8	38.3	41.6	68.3	71.0	62.3
令和4年度	40.2	37.6	41.3	39.5	42.8	63.5	66.8	60.9

<sup>%</sup> 祝日とは、国民の休日及び12月29日から1月3日(12月31日、1月1日を除く)である。

## 献血者における検査サービスの基準値外を示す割合



- ○ALT:肝炎や脂肪肝(肥満)
- Λει・πιος ( 'mana/n')α έντε κατα του κα το

- になる。
  CHOL (コレステロール) : 高いと動脈硬化を起こしやすいとされている。
  GA (グリコアルブミン) : 血糖の状態をチェックする、糖尿病の検査の一つ。

(人)

	平成30	)年度	令和元	年度	令和2	年度	令和3	年度	令和4	年度
ALT	3,165	(7.5%)	3,271	(7.5%)	3,521	(7.9%)	3,444	(7.7%)	3,398	(7.9%)
γ-GTP	5,337	(12.6%)	5,263	(12.1%)	5,543	(12.4%)	5,384	(12.1%)	5,210	(12.1%)
TP	9,399	(22.2%)	8,994	(20.7%)	6,218	(14.0%)	6,876	(15.5%)	6,723	(15.6%)
ALB	5,627	(13.3%)	7,699	(17.7%)	5,653	(12.7%)	5,218	(11.7%)	3,856	(8.9%)
CHOL	3,616	(8.5%)	3,488	(8.0%)	3,214	(7.3%)	3,195	(7.2%)	3,172	(7.4%)
GA	703	(1.7%)	686	(1.6%)	741	(1.7%)	710	(1.6%)	757	(1.8%)

### 血球計数



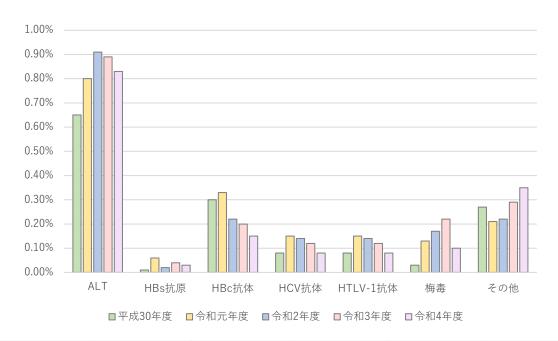
- WBC(白血球数):細菌感染や血
- WBC(目画塚数): 細園感染や皿液疾患で増減する。
  RBC(赤血球数): 貧血や血液疾患で低下し、子宮筋腫やがんの発見に役立つことがある。
  Hb(ヘモグロビン濃度): 貧血の有無を知る目安となる。
  Ht(ヘマトクリット値): 貧血の有無を知る「サント位): 貧血の有無を知る「サント位): (資血の有無を知る「サント位): (カーボール・カーボーの ロース・クロ・カーボール・カーボーの ロース・クロ・ファート)

- PLT(血小板数):血液の病気や免疫病で低下する。

(人)

検査項 (基準値		Hb	Ht	WBC	PLT
性別 (献血者数)	男:418~560×10 <sup>4</sup> (/μL) 女:384~504×10 <sup>4</sup> (/μL)	男:12.7~17.0(g/dL) 女:11.0~14.8(g/dL)	男:38.8~50.0(%) 女:34.6~44.6(%)	$38\sim89\times10^{2}(/\mu\text{L})$	17.0~36.5×10 <sup>4</sup> (/μL)
男性 30,704人	1,706 (5.6%)	903 (2.9%)	971 (3.2%)	2,859 (9.3%)	1,711 (5.6%)
女性 12,399人	551 (4.4%)	276 (2.2%)	399 (3.2%)	1,103 (8.9%)	1,173 (9.5%)
合計 43,103人	2,257 (5.2%)	1,179 (2.7%)	1,370 (3.2%)	3,962 (9.2%)	2,884 (6.7%)

## 09 献血者における検査不合格者の割合



平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 42,363 43,395 45,002 44,481 43,104 献血者数 395 360 ALT 277 (0.65%) 348 (0.80%) 409 (0.91%) (0.89%) (0.84%)HBs抗原 27 20 13 (0.03%)6 (0.01%) (0.06%)10 (0.02%) (0.04%)125 99 88 67 (0.16%) HBc抗体 (0.30%) 143 (0.33%) (0.22%) (0.20%) HCV抗体 5 (0.01%) 27 (0.06%)31 (0.07%) 21 (0.05%) 21 (0.05%)32 HTLV-1抗体 (0.07%)33 (0.08%)64 (0.15%)63 (0.14%)52 (0.12%)梅毒 13 (0.03%)56 77 (0.17%)98 (0.22%) 42 (0.10%)(0.13%)その他 113 (0.27%)91 (0.21%)98 (0.22%) 128 (0.29%) 150 (0.35%)不合格者数(延べ) 572 756 802 685 (1.35%) (1.74%) 787 (1.75%) (1.80%) (1.59%)

## 10 献血の普及啓発

### ○ 各種献血キャンペーン

キャンペーン	期間	期間中の献血者数(人)				
	ガル	成分	400mL	200mL	合計	
愛の血液助け合い運動	7月1日~7月31日	1,172	2,481	121	3,774	
成分献血初回キャンペーン	10月11日~10月31日	704	218	28	950	
献血ルーム開所記念キャンペーン	11月1日~11月30日	1,001	345	25	1,371	
クリスマス献血キャンペーン	12月4日~12月25日	846	1,997	94	2,937	
はたちの献血キャンペーン	1月1日~2月28日	2,174	4,795	172	7,141	
バレンタイン献血キャンペーン	2月4日~2月14日	676	1,457	47	2,180	
献血ありがとうキャンペーン	3月11日~3月31日	701	1,500	82	2,283	

### ○ 献血研修会

学校名、団体名	開催日	参加人数
専門学校		
成四手群医病上尚抗	12月16日	40
盛岡看護医療大学校	2月21日	30
大学		
岩手医科大学薬学部	1月25日	2
ボランティア団体等		
盛岡市保健推進員初任者研修会	6月17日	200
岩手教区献血たすけあいの会	3月2日	30
研修医		
盛岡赤十字病院	1月27日	3
県立磐井病院	2月8日	8
県立胆沢病院	2月8日	7
県立久慈病院	2月8日	1
県立中部病院	2月9日	8
県立大船渡病院	2月9日	6
北上済生会病院	2月9日	1
岩手医科大学附属病院	2月15日	9
県立中央病院	2月17日	15
県立宮古病院	2月17日	1
盛岡市立病院	2月21日	2

### ○ 親と子の血液センター見学会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

### ○市町村献血推進協議会等

開催日	場所
市町村献血推進協議会	
4月14日	宮古市
6月1日	住田町
6月2日	大槌町
6月22日	葛巻町
6月29日	金ケ崎町
7月1日	久慈市
7月25日	二戸市
書面開催	一関市
書面開催	滝沢市
書面開催	奥州市
保健所管内市町村担当者会請	轰
2月28日	奥州保健所
3月1日	一関保健所
3月1日	大船渡保健所
3月3日	釜石保健所
3月8日	宮古保健所
3月9日	二戸保健所
3月9日	久慈保健所
書面開催	中部保健所
書面開催	県央保健所

## 11 ボランティアの参加状況

### クリスマス献血キャンペーン:12月3日~12月25日

団体名	参加人数	団体名	参加人数
イーハトーブ学生赤十字奉仕団	6	釜石ライオンズクラブ	8
一関修紅高等学校	4	釜石リアスライオンズクラブ	9
一関ライオンズクラブ	4	釜石レオクラブ	3
岩手医科大学学生有志	2	北上国見ライオンズクラブ	4
一関市赤十字奉仕団	4	北上西ロータリークラブ	2
岩手教区献血たすけあいの会	6	北上ライオンズクラブ	5
岩手県立北上翔南高等学校	6	北上ロータリークラブ	2
岩手県立前沢高等学校	3	北上和賀ロータリークラブ	2
岩手女子高等学校JRC部	3	花巻市花巻地区赤十字奉仕団	11
江釣子ライオンズクラブ	8	花巻東ライオンズクラブ	6
大船渡五葉ライオンズクラブ	4	前沢ライオンズクラブ	4
大船渡市赤十字奉仕団	4	盛岡不来方ライオンズクラブ	5
大船渡ライオンズクラブ	4	盛岡南ライオンズクラブ	3
釜石市赤十字奉仕団	8	和賀ライオンズクラブ	4

### バレンタイン献血キャンペーン:2月4日~2月14日

団体名	参加人数	団体名	参加人数
イーハトーブ学生赤十字奉仕団	4	二戸ライオンズクラブ	10
一関修紅高等学校	4	花巻市花巻地区赤十字奉仕団	8
一関中央ライオンズクラブ	4	花巻ライオンズクラブ	8
岩手医科大学学生有志	2	前沢ライオンズクラブ	4
岩手教区献血たすけあいの会	6	宮古市赤十字奉仕団	1
江釣子ライオンズクラブ	9	盛岡市保健推進員	10
金ケ崎町赤十字奉仕団	8	盛岡中津川ライオンズクラブ	8
金ケ崎ライオンズクラブ	6	陸前高田ライオンズクラブ	5
釜石市赤十字奉仕団	6	陸中宮古ライオンズクラブ	4
二戸市赤十字奉仕団	4		

## 12 献血表彰

### 厚生労働大臣表彰状:2団体

受賞団体名	所在地
国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	盛岡市
学校法人岩手橘学園江南義塾盛岡高等学校	盛岡市

### 厚生労働大臣感謝状:8団体

受賞団体名	所在地
宮古地区広域行政組合宮古消防署	宮古市
岩手県立産業技術短期大学校	矢巾町
東日本高速道路株式会社東北支社盛岡管理事務所	盛岡市
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	盛岡市
株式会社榊鐵工所	宮古市
岩手県農業共済組合胆江地域センター	奥州市
遠野市赤十字奉仕団	遠野市
岩手県遊技業協同組合青年部会	盛岡市

### 知事及び日本赤十字社岩手県支部長感謝状: 11 団体

受賞団体名	所在地
岩手県立東和病院	花巻市
東北ポール株式会社北上工場	北上市
岩手教区献血たすけあいの会	盛岡市
株式会社バイタルネット盛岡支店	矢巾町
株式会社ヤマデン岩手事業所	奥州市
岩手県農業共済組合盛岡・紫波支所	矢巾町
ユニカ株式会社岩手工場	奥州市
岩手県立北上翔南高等学校	北上市
奥州エフエム放送株式会社	奥州市
株式会社神文ストア花泉店	一関市
株式会社マイヤ千厩店	一関市
	·

## 13 献血団体及び献血推進団体

#### 盛岡市保健所

盛岡市

アフラック岩手県アソシエイツ会 イオンスーパーセンター株式会社 イオンスーパーセンター盛岡渋民店 イオンモール株式会社イオンモール盛岡 イオンモール株式会社イオンモール盛岡南

一般財団法人岩手済生医会三田記念病院

一般社団法人岩手県銀行協会

一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部

一般社団法人生命保険協会岩手県協会

岩手県環境保健研究センター

岩手県遊技業協同組合

岩手女子高等学校JRC部

岩手ヤクルト販売株式会社

学校法人大原学園盛岡校

学校法人龍澤学館盛岡中央高等学校

学校法人盛岡理容美容学園盛岡へアメイク専門学校

株式会社ケーズデンキ盛岡南店

株式会社たもり乙部店

株式会社東北銀行事務センター

株式会社土木技研

株式会社ベルジョイス本社

共立医科器械株式会社本社

社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院

社会保険診療報酬支払基金岩手支部

地方独立行政法人岩手県工業技術センター

マルイチウイングフードマーケットみたけ店

盛岡大通り商店街協同組合

盛岡地区広域消防組合盛岡中央消防署

盛岡八幡宮

リコージャパン株式会岩手支社 医療法人社団恵仁会三愛病院 医療法人日新堂八角病院 医療法人方愛会盛岡友愛病院

医療法人友愛会盛尚友愛病院

学校法人スコーレ盛岡スコーレ高等学校

学校法人岩手橘学園江南義塾盛岡高等学校

学校法人岩手奨学会岩手高等学校

学校法人上野教育学園上野法律ビジネス専門学校 学校法人龍澤学館盛岡医療福祉スポーツ専門学校 株式会社NIPPOコーポレーション盛岡合材工場

株式会社NTT東日本-東北岩手サービスセンター

株式会社YDKテクノロジーズ感岡事業所

株式会社アイシーエス

株式会社ウォーターエージェンシー

株式会社カガヤ 株式会社タカヤ 株式会社ドコモCS東北岩手支店

株式会社ベル開発ビッグハウス川久保店

株式会社マイヤ仙北店

株式会社マルイチ東安庭店

株式会社マルカンエムズエクスポ盛岡店

株式会社ユアテック岩手支社

株式会社岩手銀行本店

株式会社岩手県農協情報電算センター

株式会社吉田産業岩手ブロック盛岡支店

株式会社三田商店

株式会社小山田工業所

株式会社日盛ハウジング

株式会社北日本銀行事務センター

株式会社北日本銀行本店

株式会社北日本朝日航洋

岩手トヨペット株式会社

岩手教区献血たすけあいの会

岩手県アスファルト合材協会

岩手県ハイ・タク交通共済協同組合

岩手県火災共済協同組合

岩手県企業局施設総合管理所

岩手県警察学校

岩手県警察本部

岩手県国民健康保険団体連合会

岩手県盛岡西警察署

岩手県盛岡地区合同庁舎

岩手県盛岡東警察署

岩手県庁

岩手県土地改良事業団体連合会

岩手県農業共済組合本所

岩手県立盛岡第三高等学校

岩手県立盛岡第四高等学校

岩手県立盛岡南高等学校

岩手県立中央病院

岩手日野自動車株式会社

玉山姫神ライオンズクラブ

公益財団法人岩手県予防医学協会

厚生労働省岩手労働局

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

国土交通省東北地方整備局盛岡営繕事務所

国立大学法人岩手大学

国立大学法人岩手大学ラクロス部

財団法人岩手県下水道公社

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 財団法人岩手済生医会岩手リハビリテーション学院

財務省東北財政局盛岡財務事務所

山口北州印刷株式会社

自衛隊岩手地方協力本部

社会福祉法人松実会特別養護老人ホーム繋松苑

真如苑東北本部

盛岡医療生活協同組合川久保病院

盛岡合同庁舎

盛岡市上下水道局

盛岡市中央卸売市場

盛岡市保健所

盛岡市役所玉山総合事務所

成岡市役所都南総合支所

盛岡市役所本庁舎

盛岡市立高等学校

盛岡商工会議所

盛岡信用金庫本店

盛岡赤十字病院

盛岡中津川ライオンズクラブ

盛岡南ショッピングセンターサンサ

盛岡不来方ライオンズクラブ

西濃運輸株式会社盛岡支店

川口印刷工業株式会社

大和ハウス工業株式会社北東北支社

第一生命保険相互会社盛岡支社

東日本高速道路株式会社東北支社盛岡管理事務所

東日本電信電話株式会社岩手支店

東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社

東北電力ネットワーク株式会社盛岡電力センター

東北電力株式会社岩手支店

東北労働金庫岩手県本部

特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院

独立行政法人家畜改良センター岩手牧場

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

東北農業研究センター 日産プリンス岩手販売株式会社

農林水産省東北農政局北上土地改良調査管理事務所

法務省盛岡地方検察庁

法務省盛岡地方法務局

#### 県央保健所

雫 石 町

株式会社中村建設

雫石商工会 雫石町役場

新岩手農業協同組合南部営農経済センター

滝 沢 市

岩手県警察本部警備部機動隊

岩手県立大学

いわて生活協同組合ベルフ牧野林

### 献血の概要

学校法人盛岡大学

株式会社小林精機

株式会社ミクニ盛岡事業所・滝沢工場

株式会社やまびこ盛岡事業所

新岩手農業協同組合

新岩手農業協同組合滝沢中央支所

鈴木機械株式会社

滝沢市役所

滝沢中央病院

滝沢ライオンズクラブ

陸上自衛隊岩手駐屯地

スーパーセンタートライアル滝沢店

紫 波 町

岩手中央農業協同組合本所

オガールプラザ株式会社

協同組合盛岡南ショッピングセンターナックス

紫波警察署

紫波町役場

紫波ライオンズクラブ

日詰商店街駐車場

ユニバース紫波店

紫波町中央地区構造改善センター

矢 巾 町

TTK岩手支店

医療法人社団帰厚堂南昌病院

岩手県消防学校

岩手県農業共済組合盛岡・紫波支所

岩手県立産業技術短期大学校

株式会社バイタルネット盛岡支店

国土交通省東北運輸局岩手運輸支局

サンデー矢巾店

トヨタモビリティパーツ株式会社北東北統括支社

マックスバリュ北東北株式会社 マックスバリュ矢巾店

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

盛岡地区勤労者共同福祉センター

矢巾町役場

ユニバース矢巾店

矢巾町消防団

葛 巻 町

葛巻町役場

一般社団法人葛巻町畜産開発公社

岩 手 町

株式会社飯島産業

医療法人日新堂介護老人保健施設ケアホーム川口

岩手県岩手警察署

岩手県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター

岩手町役場

有限会社協永工作所

新岩手農業協同組合岩手支所

ニチコン岩手株式会社

沼宮内公民館

八幡平市

一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院

シミックCMO西根株式会社

新岩手農業協同組合八幡平営農経済センター

積水メディカル株式会社岩手工場

八幡平市役所

八幡平市安代総合支所 いわて生協ベルフ八幡平

安代ライオンズクラブ

中部保健所

花巻市

イーエヌ大塚製薬株式会社花巻工場

石鳥谷ライオンズクラブ

医療法人啓愛会宝陽病院

岩手県県南広域振興局花巻総合支局

岩手県花巻警察署

岩手県立花巻農業高等学校

岩手県立東和病院

インディ500花巻

小田島商事株式会社

学校法人花巻学院花巻東高等学校

株式会社TSD

株式会社伊藤組

株式会社イトーヨーカ堂花巻店

株式会社コメリパワー花巻店

株式会社新興製作所

株式会社中央コーポレーション

株式会社長府製作所花巻工場

株式会社ツガワ花巻工場

株式会社照甲組

株式会社ベルジョイス ジョイス銀河モール花巻

株式会社マルカン エムズエクスポ花巻店

株式会社みちのくクボタ本社

株式会社ユニバース花巻桜木店

株式会社理水興業

株式会社ケーズホールディングス ケーズデンキ花巻店

公益財団法人総合花巻病院

社会福祉法人大谷会特別養護老人ホーム

アイリス花巻 大一光学株式会社花巻支社

東北資材工業株式会社

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

岩手支部 岩手職業能力開発促進センター

目精電機株式会社

日東工業株式会社

花巻機械金属工業団地協同組合

花巻きらきらモール

花巻高等看護専門学校

花巻市石鳥谷総合支所

花巻市大迫総合支所

花巻市消防本部

花巻市東和総合支所

花巻市役所

花巻農業協同組合本店

花巻東ライオンズクラブ

花巻保健センター

花巻ライオンズクラブ

宣十大学

富士フイルムヘルスケアマニュファクチャリング

株式会社花巻事業所

リコーインダストリアルソリューションズ株式会社

和同産業株式会社

花巻市花巻地区赤十字奉仕団

花巻市大泊地区赤十字奉什団

花巻市石島谷地区赤十字奉什団

花巻市東和地区赤十字奉仕団

遠 野 市

SMC株式会社遠野工場

岩手県遠野警察署

岩手県立遠野病院

インディ500遠野

オサダ株式会社岩手事業所

株式会社YDK東北工場

株式会社ベルジョイス ビッグハウス遠野店

株式会社クライン岩手事業所

株式会社みずかみ

アクティマーケットプレイス遠野店

筑波ダイカスト工業株式会社遠野工場

遠野健康福祉の里

遠野市消防本部遠野消防署

遠野市役所

读野地区合同庁舎

花巻農業協同組合遠野地域営農センター

遠野市赤十字奉仕団

北上市

DCM北上藤沢店

TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社

北上工場

一般社団法人岩手県建設業協会北上支部 一般社団法人岩手県自動車整備振興会 北上支部・北上地区自動車整備事業協同組合 イオン東北株式会社 マックスパリュ北上店

岩手県北上警察署

岩手県北上地区合同庁舎

岩手県農業研究センター

岩手県立北上翔南高等学校

岩手県立中部病院

江釣子ライオンズクラブ

株式会社 | 」 | TT北上工場

株式会社アムコーテクノロジー・ジャパン

株式会社あらた北上センター

株式会社公楽WINS北上ライト館

株式会社後藤製作所

株式会社コメリパワー北上店

株式会社サンデー北上江釣子店

株式会社システムベース

株式会社ジャパンセミコンダクター岩手事業所

株式会社西部開発農産

株式会社東北イノアック北上工場

株式会社ベルジョイス ジョイス北上アピア店

株式会社ベルジョイス ジョイス北上鬼柳店

株式会社北洲本店

株式会社ミスズ工業岩手工場

株式会社ユニクロ北上店

キオクシア岩手株式会社

北上オフィスプラザ

北上開発ビル管理株式会社

北上国見ライオンズクラブ

北上コンピュータ・アカデミー

北上市役所江釣子庁舎

北上市役所本庁舎

北上地区消防組合北上消防署

北上槌屋デカル株式会社

北上都心開発株式会社

北上西ロータリークラブ

北上ライオンズクラブ

北上ロータリークラブ

北上和賀ロータリークラブ

協同組合江釣子ショッピングセンターパル

シチズンマシナリー株式会社北上事業所

社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院

社会福祉法人北上市社会福祉協議会

専修大学北上福祉教育専門学校

東北KAT株式会社

東北ポール株式会社北上工場

トヨタ紡織東北株式会社本社・北上工場

花巻農業協同組合北上支店

花巻農業協同組合和賀町支店

パンチ工業株式会社北上工場

日立Astemoハイキャスト株式会社

富士善工業株式会社

三菱製紙株式会社北上工場

谷村電気精機株式会社

和賀ライオンズクラブ

北上市赤十字奉仕団

西和賀町

川尻保健センター

沢内農業者トレーニングセンター

西和賀町役場沢内庁舎

西和賀町役場湯田庁舎

奥州保健所

奥 州 市

EC南部コーポレーション株式会社

イオンリテール株式会社イオン前沢店

一般社団法人岩手県建設業協会奥州支部

岩手江刺農業協同組合

岩手県奥州警察署

岩手県県南広域振興局

岩手県農業共済組合胆江地域センター

岩手県立胆沢病院

岩手県立江刺病院

岩手県立産業技術短期大学校水沢校

いわて生活協同組合コープアテルイ

岩手ふるさと農業協同組合

岩手ふるさと農業協同組合水沢中央支店

江刺岩手ライオンズクラブ

奥州金ケ崎行政事務組合水沢消防署

奥州市役所胆沢総合支所

奥州市役所江刺総合支所

奥州市役所本庁

奥州市役所前沢総合支所

奥州市水沢赤十字奉仕団

大井電気株式会社水沢製作所

株式会社キンレイI. S. W.

株式会社サンセイ・イサワ

株式会社千田精密工業

株式会社ダイナム水沢店

株式会社デジアイズ

株式会社ファミリーマート西関田店

株式会社マイヤ水沢店

株式会社ミズサワセミコンダクタ

株式会社ヤマデン岩手事業所

株式会社ユアテック水沢営業所

株式会社ユーテムプレシジョン東北工場

株式会社ユニバース水沢日高店

カネマン奥州

関東化学株式会社岩手工場

及源鋳造株式会社

京浜光膜工業株式会社岩手工場

合資会社丸萬スーパースーパーマーケットサンエー

社団医療法人啓愛会美山病院

スーパーセンタートライアル水沢上姉体店

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ 株式会社東北事業所

東北電力ネットワーク株式会社水沢電力センター

前沢ライオンズクラブ

水沢アスコン

水沢信用金庫本店

水沢中央ライオンズクラブ

水沢ライオンズクラブ

六三ビジネスフォーム

ユニカ株式会社岩手工場

金ケ崎町

アイシン東北株式会社

イオン株式会社イオンスーパーセンター金ケ崎店

岩手県立農業大学校

株式会社デンソー岩手

金ケ崎町赤十字奉什団

金ケ崎ライオンズクラブ

財団法人岩手県予防医学協会県南センター

シオノギファーマ株式会社金ケ崎工場

東北電力ネットワーク株式会社水沢電力センター

トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場

金ヶ崎町役場

一関保健所

一関市

ナイスアネックス

SWS東日本株式会社一関工場

東里工業株式会社

イオンスーパーセンター株式会社一関店

イオンリテール株式会社イオン一関店

--関市消防太部

一関市役所川崎支所

—関市役所千厩支所

一関市役所大東支所

一関市役所花泉支所

一関市役所東山支所

一関市役所藤沢支所 一関市役所本庁舎

一関市役所室根支所

一関信用金庫本店

一関地区合同庁舎千厩分庁舎

一関中央ライオンズクラブ

一関保健センター

一関ライオンズクラブ

**岩手** 世里整 安 署

岩手県建設業協会一関支部

岩手県千厩警察署

岩手県南広域振興局一関総合支局

岩手県立一関高等看護学院

岩手県立磐井病院

岩手県立千厩高等技術専門校

岩手県立千厩病院

岩手県立南光病院

岩手日日新聞社東台センター・東台印刷工場

いわて生活協同組合コープー関コルザ

いわて平泉農業協同組合西部営農振興センター

学校法人—関学院—関学院高等学校

学校法人健康科学大学一関修紅高等学校

株式会社SHOEI岩手工場

株式会社アロン社一関工場

株式会社一関LIXIL製作所

株式会社ケーエムエフ

株式会社佐々木製菓

株式会社佐原

株式会社ベルジョイス ジョイス三関店

株式会社神文ストア萩荘バイパス店

株式会社神文ストア花泉店

株式会社大昌雷子岩手丁場

株式会社東北オカヤ

株式会社バイタルネット一関支店

株式会社平野組

株式会社マイヤ千厩店

株式会社マイヤ花泉店

株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス

UBE三菱セメント株式会社岩手工場

株式会社薬王堂岩手川崎店

クボホームセンター大東店

趣栄通信工業株式会社

国際医療福祉専門学校一関校大東校舎

国際医療福祉専門学校一関校室根校舎

社会福祉法人仁愛会一関ワークキャンパス

千厩ライオンズクラブ

大東岩手ライオンズクラブ

特定医療法人博愛会一関病院

ドン・キホーテー関店

ニットーハイ株式会社東北事業所

花泉ライオンズクラブ

東山ライオンズクラブ

藤沢岩手ライオンズクラブ

藤沢保健センター

室根ライオンズクラブ

株式会社カワチ薬品一関店

川崎ライオンズクラブ

一関厳美渓ライオンズクラブ

一関市赤十字奉什団

平泉町

株式会社ベルジョイス ジョイス平泉店

株式会社フタバ平泉

川嶋印刷株式会社

平泉町役場

平泉ライオンズクラブ

大船渡保健所

大 船 渡 市

岩手開発鉄道株式会社

岩手県大船渡警察署

岩手県大船渡地区合同庁舎

岩手県立大船渡高等学校

岩手県立大船渡東高等学校

岩手県立大船渡病院

大船渡五葉ライオンズクラブ

大船渡市総合福祉センター

大船渡市役所本庁

大船渡ライオンズクラブ

おおふなぽーと

株式会社菊池技研コンサルタント

株式会社佐賀組

株式会社マイヤ大船渡インター店

株式会社マイヤ大船渡店

太平洋セメント株式会社大船渡工場

デイリーポート新鮮館大船渡店

橋爪商事株式会社

明治安田生命保険相互会社

岩手南営業支社大船渡営業所

龍振鉱業株式会社

東海新報

岩手建設業協会大船渡支部

陸前高田市

アバッセたかた

イオンスーパーセンター株式会社陸前高田店

岩手県立高田高等学校

陸前高田市建設業協会

陸前高田市役所

陸前高田商工会

陸前高田ライオンズクラブ

住 田 町

住田町役場

住田ライオンズクラブ

釜石保健所

釜石市

イオンタウン釜石

医療法人楽山会せいてつ記念病院

岩手県釜石警察署

岩手県釜石地区合同庁舎

岩手県建設業協会釜石支部

岩手県立釜石商工高等学校

岩手県立釜石病院

株式会社マイヤ釜石店

釜石大槌地区行政事務組合 釜石消防署

釜石市役所

釜石ライオンズクラブ

釜石リアスライオンズクラブ

クエスト小佐野

ケーズデンキ釜石店

国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所

双葉精密株式会社

SMC(株)釜石工場

セントラル釜石店

大 棉 町

大棉町役場

岩手県立大槌高等学校

宮古保健所

宮古市

岩手県宮古警察署

岩手県宮古地区合同庁舎

岩手県遊技業協同組合青年部会

岩手県立大学宮古短期大学部

岩手県立宮古高等技術専門校

いわて生活協同組合マリンコープDORA

株式会社榊鐵工所

岩手県立宮古病院

株式会社ユアテック宮古営業所

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

サン物産株式会社サンオート事業部

社団法人岩手県建設業協会宮古支部

東北電力ネットワーク株式会社 宮古電力センター(太田)

### Ⅰ 献血の概要

東北ヒロセ電機株式会社宮古工場 独立行政法人海技教育機構 国立宮古海上技術短期大学校 パンチ工業株式会社宮古工場

宮古市社会福祉協議会 宮古市上下水道部

宮古市新里総合事務所

宮古市役所 宮古消防署 宮古税務署 陸中建設株式会社

陸中宮古ライオンズクラブ

ウインズ宮古

岩手県立宮古商工高等学校(工業) 岩手県立宮古水産高等学校

宮古年金事務所

株式会社エム・アイ・ティー東北工場 社団医療法人親和会宮古山口病院

山 田 町

株式会社エフピー 航空自衛隊第37警戒隊 山田町保健センター 山田町まちなか交流センター 山田町役場

陸中山田ライオンズクラブ 和田工業株式会社

山田町商工会

岩泉町

岩泉町役場

岩泉龍泉洞ライオンズクラブ

岩手アライ株式会社 岩手県岩泉警察署 岩手県岩泉地区合同庁舎

社会福祉法人岩泉町社会福祉協議会 社会福祉法人恩賜財団岩手県済生会岩泉病院

田 野畑 村

田野畑村保健センター 田野畑村役場 田野畑ライオンズクラブ

久慈保健所

久 慈 市

PACHINKO&SLOT UCHU

一沢コンクリート工業株式会社第二工場

岩手県久慈警察署 岩手県久慈地区合同庁舎 岩手県立久慈病院 岩手モリヤ株式会社 株式会社ヤマイチ 久慈市役所

久慈市役所山形総合支所 久慈ショッピングセンター

久慈地区広域行政事務組合久慈市防災センター

久慈ライオンズクラブ

元気の泉

社団医療法人祐和会北リアス病院 新岩手農業協同組合久慈支所

久慈港本体作業所

日本地下石油備蓄株式会社久慈事業所

道の駅くじ やませ土風館

宮城建設株式会社

普 代 村

普代漁業協同組合 普代村役場

洋 野 町

洋野町大野保健センター 洋野町役場種市庁舎

野 田 村

野田村役場

#### 二戸保健所

二戸市

岩手県二戸警察署 岩手県二戸地区合同庁舎 岩手県立二戸高等看護学院 岩手県立二戸高等技術専門校 岩手県立二戸病院

在于宗立一户树匠 株式会社阿部繁孝商店 株式会社菅文 株式会社國分屋金物店

株式会社ツガワニ戸工場

株式会社バイタルネット二戸支店

社会福祉法人桂泉会 障がい者支援施設みやび

二戸市総合福祉センター

二戸市役所

二戸ライオンズクラブ 二戸地区クリーンセンター

二戸市シビックセンター

夢工房21堀野店 株式会社ユニバースニ戸堀野店

協同組合二戸ショッピングセンターニコア

二戸市消防団 二戸市赤十字奉仕団

一戸町

一戸町役場 岩手県立一戸病院 奥中山地区公民館

新岩手農業協同組合奥中山支所

軽 米 町

軽米町役場

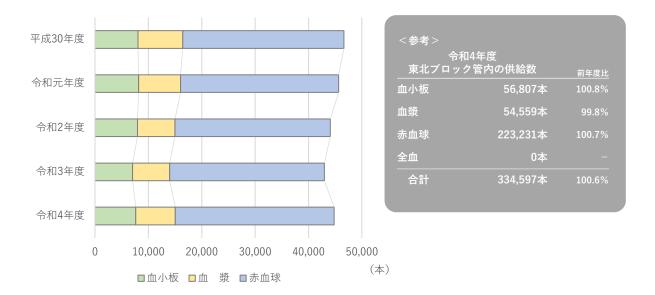
九戸村

九戸村役場

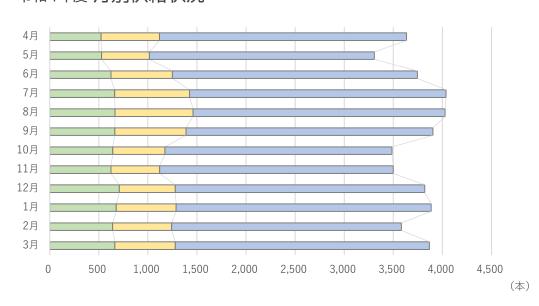
## 01 供給状況

	血小板	血漿	赤血球	全血	合計
平成30年度	8,046	8,388	30,182	0	46,616
令和元年度	8,180	7,850	29,605	0	45,635
令和2年度	7,970	6,993	29,106	0	44,069
令和3年度	7,026	6,973	28,971	0	42,970
令和4年度	7,628	7,413	29,759	0	44,800

※ 単位数にかかわらず、供給実本数で計上した。



### 令和4年度 月別供給状況



## 02 献血区分別供給状況

	項目		令和3年度	令和4年度	前年度比
成分献血					
	照射濃厚血小板-LR	1単位	0	0	_
	照射濃厚血小板-LR	2単位	0	0	_
	照射濃厚血小板-LR	5単位	108	131	121.3%
	照射濃厚血小板-LR	10単位	6,467	7,057	109.1%
	照射濃厚血小板-LR	15単位	16	43	268.8%
血小板製剤	照射濃厚血小板-LR	20単位	6	4	66.7%
	照射洗浄血小板-LR		188	300	159.6%
	照射濃厚血小板HLA-LR	10単位	239	93	38.9%
	照射濃厚血小板HLA-LR	15単位	2	0	0.0%
	照射濃厚血小板HLA-LR	20単位	0	0	_
	照射洗浄血小板HLA-LR		0	0	_
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR - 480	512	552	107.8%
	小 計		7,538	8,180	108.5%
100mL献血					
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR - 240	6,441	6,853	106.4%
	照射赤血球液	LR-2	27,657	28,558	103.3%
十五十生	照射洗浄赤血球	LR-2	12	149	1,241.7%
赤血球製剤	照射解凍赤血球	LR-2	0	0	_
	照射合成血	LR-2	0	0	_
全血製剤	照射人全血	LR-2	0	0	-
	小青十		34,110	35,560	104.3%
200mL献血					
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR-120	20	8	40.0%
	照射赤血球液	LR-1	1,302	1,052	80.8%
土血珠制如	照射洗浄赤血球	LR-1	0	0	_
赤血球製剤	照射解凍赤血球	LR-1	0	0	_
	照射合成血	LR-1	0	0	_
全血製剤	照射人全血	LR-1	0	0	_
	/Jへ 富士		1,322	1,060	80.2%
	合 計		42,970	44,800	104.3%

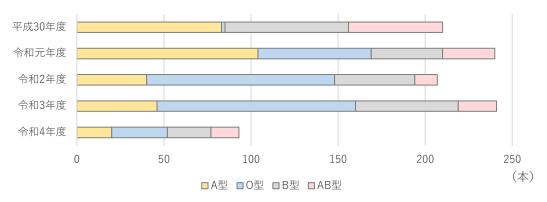
※ 供給実本数で計上した。



## 03 保健所管内供給実績

	血小板	血漿	赤血球	全 血	合 計	構成比
盛岡市保健所	2,605	1,643	8,546	0	12,794	28.6%
県央保健所	2,775	4,311	8,412	0	15,498	34.6%
中部保健所	1,486	488	3,678	0	5,652	12.6%
奥州保健所	151	363	2,673	0	3,187	7.1%
一関保健所	97	186	1,752	0	2,035	4.5%
大船渡保健所	259	291	1,389	0	1,939	4.3%
釜石保健所	17	29	599	0	645	1.4%
宮古保健所	60	36	1,009	0	1,105	2.5%
久慈保健所	144	40	911	0	1,095	2.4%
二戸保健所	34	26	790	0	850	1.9%
合 計	7,628	7,413	29,759	0	44,800	100%

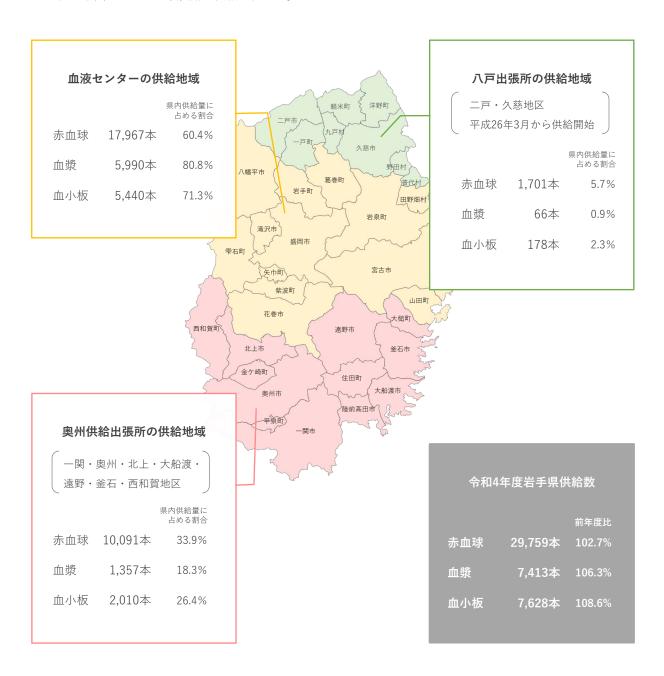
## O4 HLA適合血小板供給数



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A型	83	104	40	46	20
O型	2	65	108	114	32
B型	71	41	46	59	25
AB型	54	30	13	22	16
合計	210	240	207	241	93

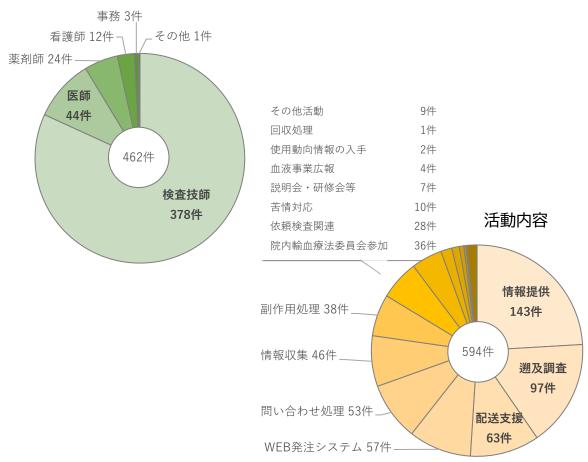
## 05 岩手県地区別供給数

安全な血液の安定的な確保と安定供給を図るため、平成24年度から実施している血液事業広域事 業運営体制(全国7ブロックでの運営体制)により、北上地区以南・沿岸南部・西和賀地区医療圏は 奥州供給出張所から、県北医療圏(二戸・久慈地区)は青森県赤十字血液センター八戸出張所から の供給体制を整えた。このことにより迅速な供給が可能となり、令和4年度は岩手県内94の医療機 関に下図のとおり血液製剤の供給を行った。



## 01 医薬情報活動の状況



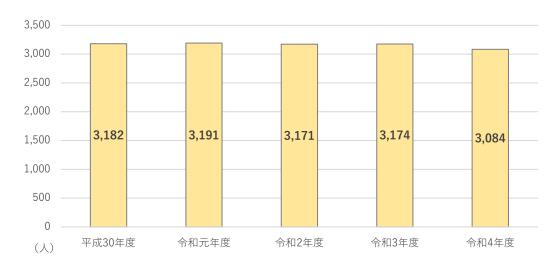


## 02 医療機関からの検査依頼状況



- ※ 赤血球関連検査: ABO血液型精査、Rh血液型精査、不規則抗体同定検査等
- ※ HLA・血小板関連検査: HLA抗体検査、血小板抗体検査、HLAタイピング検査(クラス I)等

## 01 岩手県の骨髄ドナー登録者数



- ※ 令和4年度新規登録105人、取消195人(年齢超過等の理由による)
- ※ 骨髄バンク登録窓口
  - ○もりおか献血ルームメルシー 受付時間内(12/31、1/1以外)
  - ○献血バス 受付時間内
  - ○各保健所 受付時間指定あり

※月1回程度指定日あり。盛岡市保健所、県央保健所を除く。

## 02 令和4年度新規登録状況

	保健所	集団登録	献血併行型	合計
保健所計	9	0	11	20
中部保健所	0	0	0	0
奥州保健所	3	0	0	3
一関保健所	2	0	0	2
大船渡保健所	0	0	0	0
釜石保健所	2	0	0	2
宮古保健所	1	0	7	8
久慈保健所	1	0	0	1
二戸保健所	0	0	4	4
献血ルーム(併行型)	_	_	_	11
献血ルーム	-	_	_	65
献血バス	-	_	_	9
リタイピング	_	_	_	0
合計	_	_	_	105

## 01 令和4年度の動き

4月		18日	第5回東北ブロック血液事業運営会議 (Web)
14日	宮古市献血推進協議会	28日	認定インタビュアー研修会 (Web) (~11月29日)
19日	全国血液センター所長会議・採血統括者研修会・安全管理 実施責任者研修会会議 (Web) (~4月20日)	30日	第2回東北ブロック採血担当者会議・第1回東北ブロック キャリア開発ラダー認定委員会 (Web)
26日	全国血液センター管理部門・献血推進担当部長会議 (Web) (~4月27日)	12月	
28日	第1回東北ブロック血液事業運営会議・第1回東北ブロック 事業推進会議 (Web)	4日 16日	クリスマス献血キャンペーン (~12月25日) 盛岡看護医療大学校研修会
5月		1月	
11日	第1回評定者研修	18	はたちの献血キャンペーン(~2月28日)
23日	第1回労務管理セミナー(Web)		血液事業における今後の人材育成(研修)等にかかる会議
6月		11日	及びパイロット研修会 (~1月12日)
1日	住田町献血推進協議会	20日	岩手県献血推進協議会
1日	大槌町献血推進協議会	20日	第6回東北ブロック血液事業運営会議・第6回東北ブロック 事業推進会議・第6回東北ブロック総務管理会議 (Web)
7日	盛岡市保健推進員初任者研修会	21日	岩手医科大学薬学部研修会
13日	第1回東北ブロック採血担当者会議(Web)	27日	盛岡赤十字病院研修医研修会
17日	第1回東北ブロック総務管理会議(Web)	30日	バレンタイン献血キャンペーン (~2月14日)
18∃	健診医師業務連絡会議	31日	採血副作用の対応に係る研修会 (Web)
20日	第1回岩手県支部評議員会	2月	
22日	葛巻町献血推進協議会	8∃	県立磐井病院研修医研修会 (Web)
29日	金ケ崎町献血推進協議会	8∃	県立胆沢病院研修医研修会 (Web)
7月		8∃	県立久慈病院研修医研修会 (Web)
1日	愛の血液助け合い運動 (~7月31日)	9日	県立中部病院研修医研修会 (Web)
1日	久慈市献血推進協議会	9日	県立大船渡病院研修医研修会(Web)
20日	第2回東北ブロック事業推進会議(Web)	9∃	北上済生会病院研修医研修会(Web)
22日	第2回東北ブロック血液事業運営会議 (Web)	10日	全国赤十字血液センターキャリア開発ラダー研修会 (Web)
25日	二戸市献血推進協議会	13日	第2回岩手県支部評議員会
27日	献血推進協力団体等に対する表彰状等伝達式	15日	岩手医科大学附属病院研修医研修会 (Web)
8月		17日	県立中央病院研修医研修会 (Web)
4日	第2回東北ブロック総務管理会議(Web)	17日	県立宮古病院研修医研修会 (Web)
19日	第3回東北ブロック血液事業運営会議 (Web)	21日	盛岡市立病院研修医研修会(Web)
9月		21日	盛岡看護医療大学校研修会
12日	第1ブロック支部合同職員 (課長) 研修会 (Web)	28日	奥州保健所管内献血担当者会議
	(~9月14日) 第3回東北ブロック事業推進会議・第3回東北ブロック総務	28日	全国医務採血部門情報報告会(Web)
16日	管理会議(Web)	3月	
22日	第4回東北ブロック血液事業運営会議(Web)	1日	一関保健所管内献血担当者会議
10月		1日	大船渡保健所管内献血担当者会議
11日	成分献血初回キャンペーン(~10月31日)	2日	岩手教区献血たすけあいの会研修会
11日	第46回血液事業学会総会(神戸市/Web)(~10月13日)	3日	釜石保健所管内献血担当者会議
13日	全国血液センター所長会議	8日	宮古保健所管内献血担当者会議
28日	第4回東北ブロック事業推進会議・第4回東北ブロック総務 管理会議 (Web)	9∃	二戸保健所管内献血担当者会議
11月	100 (100)	9日	久慈保健所管内献血担当者会議
1日	献血ルーム開所記念キャンペーン(~11月30日)	11日	献血ありがとうキャンペーン (~3月31日)
16日	第5回東北ブロック事業推進会議・第5回東北ブロック総務 管理会議 (Web)	17日	第7回東北ブロック血液事業運営会議・第7回東北ブロック 総務管理会議(Web)
		23日	第3回東北ブロック採血担当者会議(Web)

## 02 学会発表

### 献血時の血管迷走神経反射を事前に察知することはできないか-Preliminary report-

岩手県赤十字血液センター 増田 友之 坂本 季生 西海枝 武志 高橋 明美 中島 みどり 乳井 和夫 梅野 真和

岩手県赤十字血液センター、盛岡赤十字病院 岩崎 佑紀

【はじめに】献血時の血管迷走神経反射(VVR)はドナーにとり不快な採血副作用であり、予防が望まれる。 VVRは徐脈を伴うことが多いので、腕時計型活動量計を用いて脈拍数を記録し、発症のどのくらい前から発症を予測できるかを検討した。

【方法】2022年3月から盛岡献血ルームにお越しいただき研究への同意を得られたドナーにTDK 社製腕時計型活動量計SilmeeW20を非採血腕に装着いただき、脈拍数を記録した。

【結果】研究協力依頼は業務に繁忙な土日祝祭日を避け、平日に限定して行った。同年5月までに1,143名のドナーから協力を頂いた。5名(0.43%)が経過中にVVRを発症した。いずれも意識消失はなく軽症で回復した。1例目はVVR発症9分前から徐脈傾向になり、気分不快を訴えられた直後に脈拍数が増加に転じた。しかし、2,4例目はVVR訴えまでに徐脈は現れておらず、VVR訴え直後に徐脈に陥り、それぞれ23分間、60分間継続遷延した。3例目はVVR訴え前に2峰性の徐脈が記録された。5例目は記録データの欠落が多く解析不能であった。

【考案】1例目のドナーの場合、VVR発症9分前から徐脈傾向が見られたので、事前に何らかの対応が可能と考えられるが、他のドナーの場合、VVRを事前に察知することは難しいと思われた。研究を継続し、更なるデータの解析に努めたい。

(第121回 日本輸血・細胞治療学会東北支部例会、令和4年9月)

### 移動採血における予約率向上に向けた完全予約制の実施について

岩手県赤十字血液センター 菊池 由美子 田名部 夏穂 奥寺 哲哉 佐藤 泉悦 梅野 真和 増田 友之

【はじめに】当センターの令和3年4月時点での総献血予約率は、24.3%(移動採血:7.3%)と低い状況であった。令和3年度の総献血予約率目標50%の到達のためには、移動採血の予約率の向上が必要である。事前予約献血の普及と定着を目的に、全国学生クリスマス献血キャンペーンの実施に合わせ、イオンモール盛岡南で実施した完全予約制の取り組みについて報告する。

【取り組み】(1)前回イオンモール盛岡南で献血したことがあるラブラッド非会員に対しては、会場 の案内ハガキを送付し、電話での予約も受け付けた。(2)盛岡市をはじめとする近隣市町村に居住す るラブラッド会員に案内メールを5回送信した。(3)当日、空いている時間帯をわかりやすくするた め予約状況パネルを掲示した。(4)広く周知できるよう、受付やバスの入り口や本体に完全予約制と わかるPOPを掲示した。

【結果】待ち時間も少なく、スムーズな採血ができた。献血者にも好評であり、献血後のアンケー トからは殆どの献血者から次回も完全予約制での献血に協力したいとの回答を得た。12月の移動採 血の予約率は23.3%に向上した。

【課題】クリスマス献血キャンペーン特典と予約特典をつけての実施であったため、52名の事前予 約をいただいたと考えられる。今後、継続して予約いただけるような工夫が必要である。また、今 回は概ね予約時間通りに来場いただいたが、予約時間通りに来場されなかった場合の優先順位や、 キャンセルが相次いだ場合の運用方法などの検討が必要である。

(第46回 日本血液事業学会、令和4年10月)

### 「穿刺不良の記録」の有効活用を目指して

岩手県赤十字血液センター 高橋 瑞恵 久保 聖子 崎尾 智穂 阿部 俊子 武藤 順子 米田 佑介 中島 みどり 梅野 真和 増田 友之

【はじめに】当センターでは、採血した血液を1本でも無駄にしないよう、量不足や減損を少なくし たいと考え取り組みを行っている。第45回血液事業学会において、穿刺不良による量不足や減損時 に記入した「穿刺不良の記録」を集計し結果を発表した。今回、「穿刺不良の記録」のデータを看 護師別に集計しフィードバックし、アンケートを実施した。また、穿刺不良による量不足率や減損 率、血管が細い事(以下血細)による不適率を調査したので報告する。

【方法】2017年4月~2022年3月の400mL献血で提出された「穿刺不良の記録」508枚を、看護師別 にデータ集計し、結果を配布した。結果の感想や「穿刺不良の記録」について等、10項目のアン ケートを実施した。2017年4月~2022年3月の移動採血車及び出張採血での400mL献血の量不足率、 減損率、血細による不適率を調査した。

【結果】アンケートの結果は、振り返りが次回からの穿刺に役に立ったことがある85.7%。個別 データに関しては、自分が思っていたのと異なる所があった57.1%等。2017 年度から2021 年度 の順に量不足率は0.22%、0.22%、0.22%、0.24%、0.27%。減損率は0.18%、0.22%、0.23%、 0.18%、0.21%。血細による不適率は、1.50%、1.58%、1.78%、1.30%、0.96%であった。

【考察】「穿刺不良の記録」を個別に集計しフィードバッグしたことで、穿刺不良の原因を再度考 え、自らの穿刺に関する傾向を知る良い機会となった。血細による不適率の減少は、穿刺技術の向 上や穿刺前の工夫、また接遇からの保温等の協力により献血者の環境が良くなった事も一因と考え る。アンケート内容から記録の様式を改良したが、今後も看護師の記録による負担等使用状況を見 ていく必要がある。今回、調査結果から量不足率や減損率に大きな変化はなかった。しかし、同様 のミスを繰り返さないよう振り返りを行い、これからも「穿刺不良の記録」を継続して活用してい きたい。

(第46回 日本血液事業学会、令和4年10月)

### 血液製剤の診療科別使用状況調査から得られる中長期的需要動向予測について

岩手県赤十字血液センター 藤川 智浩 中舘 幼尋 戸田 健 阿部 敏典 長岡 芳男 乳井 和夫 中村 秀一 梅野 真和 増田 友之

【目的】輸血用血液製剤の需要予測の精度向上は、血液センター全体で継続的に取り組んできた課 題である。今回の調査は、2017年及び2021年の主な診療科別の血液製剤使用状況を比較することに より、中長期的な需要動向の予測に資することを目的として実施した。

【対象及び方法】県内11の拠点病院(県内供給の約90%)に対し、2017年及び2021年の血液製剤 使用状況調査を行い、主な診療科別に比較した。対象は血液内科、循環器科、心臓血管外科、外科、 産婦人科、救急科、消化器科、泌尿器科である。また、医薬情報担当者、医療機関担当者が院内輸 血療法委員会7病院に参加し情報収集を行った。

【結果】2017年と2021年の診療科別の使用量において、赤血球製剤では救急科が24%増、泌尿器科 が16%増なのに対し、心臓血管外科が25%減となった。血漿製剤では、血液内科が122%増、救急 科が35%増なのに対し、外科が49%減、循環器科が25%減、消化器科が20%減、泌尿器科が31%減 となった。血小板製剤では、産婦人科が15%増、救急科が38%増であるのに対し、循環器科が55% 減、心臓血管外科が38%減、泌尿器科が23%減となった。

【考察】今回の結果より、心臓血管外科において血液製剤の使用量低下が顕著だった。これは、大 動脈疾患へのステントグラフト術などの低侵襲性の手術が多く行われるようになったためと考えら れる。消化器科も鏡視下手術が積極的に導入されているため同様である。救急科では全種の製剤の 使用が増えているが、救急搬送患者数が年々増加しているためと考えられる。血液内科では、赤血 球、血小板血漿製剤の使用量が増加しているのは、血漿交換療法の実施件数により、血漿製剤使用 量が毎年大きく変動するためと考えられる。今後、精度をさらに向上させるためには、血液製剤の 使用と関連性の高い手術件数や、DPCデータを併せて分析することが求められる。

(第46回 日本血液事業学会、令和4年10月)

## 01 献血目標について

令和5年度に献血により受け入れる血液の目標量

全血献血 12,386L (31,414人相当) (前年度比:31L減) 成分献血 6,131L (11,077人相当) (前年度比:900L減)

- 1 この目標量は、医療機関における輸血用血液製剤の需要及び国から示されたアルブミン製剤等血漿分画製剤用の原料 血漿確保目標量 (本県:11,922L(前年度:11,139L)) を確保するために必要な血液の目標量を定めたものである。
- 2 医療機関における令和5年度の血液製剤の需要見込みについては、日本赤十字社が次年度の血液需要量の推計を基に
- 3 血液製剤の国内自給自足の原則を踏まえ、自県で使用する血液は自県で確保することを基本とするが、血液製剤の安 定供給の確保、製剤の有効期限等を考慮し、東北ブロック内で適宜、需給調整を行うものである。

#### 【献血目標の内訳】

	区分	令和 5	5 年度	令和 4	年度
L	<u> </u>	献血量(L)	人数(人)	献血量(L)	人数(人)
1	全血献血	12,386 (△31)	31,414 (△11)	12,416	31,425
	200mL	180 (26)	899 (131)	154	768
	400mL	12,206 (△57)	30,515 (△142)	12,263	30,657
J	或分献血	6,131 (△900)	11,077 (△1,816)	7,031	12,893
	血小板	2,526 (123)	4,568 (182)	2,403	4,386
	血漿	3,605 (△1,022)	6,509 (△1,998)	4,628	8,507
	計	18,517 (△930)	42,491 (△1,827)	19,447	44,318

※ ( )は令和4年度との差。

献血量(L)は端数処理しているため、内訳と計は必ずしも一致しない。

## 02 岩手県献血推進計画

#### はじめに (現状と課題)

本県における近年の血液製剤の需要量は、赤血球製剤及び血漿製剤及び血小板製剤ともに減少傾向の状況となっている。 また、赤血球製剤については、医療機関からの需要の約98.7%が400mL献血由来の高単位製剤であり、供給に占める高単

本県の献血者数は、平成3年度以降、少子高齢化に伴う人口減少や血液製剤の高単位化に伴い減少してきているが、平 成30年度以降は微増傾向にある。

令和3年度の献血者数は延べ44,481人となっており、献血可能年齢に相当する県民のおよそ15人に1人から尊い献血へ の協力をいただいている。そのうち、若年層献血者数は年々減少傾向にあることから、将来にわたり輸血用血液製剤の安 定供給を維持するために、若年層献血者の確保が急務とされている。

このような状況のなかで、医療において必要となる血液製剤の「安定的な供給を支える持続可能な需給体制を確保」す るため、次に掲げる事項が課題となる。

- 1 需要が増大する高単位製剤(400mL献血、成分献血由来)に対応した献血者の確保
- 2 県内で使用される輸血用血液製剤を原則県内献血による確保
- 3 県民の献血に対する理解と協力の確保、特に10歳代並びに20歳代の献血者の確保
- 4 複数回献血者の確保

本計画は、このような現状と課題を踏まえ、献血について県民の理解を深めるとともに、岩手県赤十字血液センター (以下、「血液センター」という。) による献血の受入が円滑に実施されるよう「安全な血液製剤の安定供給の確保等に 関する法律」(昭和31年法律第160号)第10条第4項の規定に基づき、令和5年度の本県における献血の推進に関する計 画とするものである。

#### 第1 献血目標

令和5年度に献血により受け入れる血液の目標量は、全血献血12,386L(31,414人相当)、成分献血6,131L(11,077人 相当)とする。

これは、県内医療機関における血液製剤の需要に対応するものと、国から示されたアルブミン製剤等血漿分画製剤用の 原料血漿確保目標量11,922Lを確保するものである。

#### 【献血目標の内訳】

区分	令和!	5 年度	令和 4	年度
	献血量(L)	人数(人)	献血量(L)	人数(人)
全血献血	12,386 (△31)	31,414 (△11)	12,416	31,425
200mL	180 (26)	899 (131)	154	768
400mL	12,206 (△57)	30,515 (△142)	12,263	30,657
成分献血	6,131 (△900)	11,077 (△1,816)	7,031	12,893
血小板	2,526 (123)	4,568 (182)	2,403	4,386
血漿	3,605 (△1,022)	6,509 (△1,998)	4,628	8,507
計	18,517 (△930)	42,491 (△1,827)	19,447	44,318

※ ( ) 令和4年度との差

#### 第2 献血推進

広く県民に対し献血思想の普及啓発を図り、献血血液による血液製剤の自給を推進するため、次の事項を行う。

#### 1 献血の普及啓発

#### (1) 献血推進キャンペーン等の実施

ア 県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、献血目標の達成及び献血の普及啓発を目的に、次の献血推進キャンペーンを実施する。

実施事項	実施時期	内 容
愛の血液助け合い運動	7月	・県、市町村及び日本赤十字社岩手県支部の連携による400mL献血及び成分献血の広報活動の強化
はたちの献血キャンペーン	1~2月	・新たに成人を迎える若者を中心とした県民各層への400mL献血及び成分献血の普及啓 発の実施
各種イベント献血等	随時	・クリスマス献血(12月)、バレンタイン献血(2月) ・岩手県献血マスコット「ココロンちゃん」を活用した街頭献血の実施

イ 県及び日本赤十字社岩手県支部は、愛の血液助け合い運動の一環として、模範となる献血推進協力団体等に対して、 知事及び日本赤十字社岩手県支部長感謝状の贈呈を行うとともに、併せて厚生労働大臣表彰状並びに感謝状の伝達を 行う。

実施事項	実施時期		内	容
		・厚生労働大臣表彰状	概ね	2団体又は個人
知事・日赤県支部長感謝状の贈呈等	7月	<ul><li>厚生労働大臣感謝状</li></ul>	概ね	7団体又は個人
		<ul><li>知事・日赤県支部長感謝状</li></ul>	概ね1	l 1団体又は個人

#### (2) 若年層を対象とした普及啓発

#### ア 高校生等に対する重点的な普及啓発

県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、次世代の献血者を育てていくために、高校献血を実施し、高校生に対する重点的な献血思想の普及に努める。

また、血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進する上では、400mL献血を基本として行う必要があるが、400mL献血に献血者が不安のある場合は200mL献血を推進し、出来る限り献血を経験してもらえるよう努める。

なお、高校献血の実施を原則とするが、実施が困難な場合は献血セミナーの開催に努め、普及啓発を図る。 血液センターは、中高生への普及啓発を図るため、献血ルームを中学生・高校生の職場体験の場として提供することについて、学校へ働きかけをする。

#### イ 大学生等への普及啓発

血液センターは、県内の大学や専門学校を訪問し、献血の協力と400mL献血の推進を行うとともに、入学オリエンテーション等での献血リーフレットの配布などを依頼する。

#### ウ 学生ボランティアと協働した普及啓発

県及び血液センターは、相互に連携し、学生ボランティアの育成を図るとともに、イベント会場等において協働し、 献血思想の普及及び献血の推進を図る。

実施事項	実施時期	内 容
		・高校献血の実施と併せてパネル展示等による献血思想の啓発
		・全高校卒業生に県が作成するクリアファイルを配布
高校生への普及啓発	通年	・高校生に血液センターが作成するリーフレットの配布及び関連情報をホームページに
同仪主への音及合光	2000年	掲載
		・高校を訪問して献血セミナーによる普及啓発
		・献血ルームを中学生・高校生の職場体験の場として提供
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	・県内の大学や専門学校を訪問して献血への協力依頼及び入学オリエンテーション時等
大学生等への普及啓発	通年	でのリーフレットの配布
学生ボランティアの支援	通年	・学生ボランティアを支援し、意見交換する場を設ける等、活動の活性化を促す支援

#### <数値目標>

・「献血推進2025」により国が設定する若年層における献血率の目標を達成するため、若年層の献血率を上昇させる。 「献血推進2025」による取組(取組期間:令和3年度~令和7年度)

			10代	20代	30代
若年層における献血率の目標値		6.6%	6.8%	6.6%	
(参考)	令和3年度	岩手県実績	4.8%	6.4%	5.9%
(参考)	//	東北ブロック実績	5.2%	6.5%	6.2%
(参考)	//	全国実績	4.5%	5.5%	5.5%

※血液事業年度報 令和3年度統計表データ

#### (3) 献血ルーム及び献血バスにおける普及啓発

#### ア 献血ルームにおける普及啓発

献血ルームの周辺事業所、各種協会等を訪問し、献血ルームでの献血に協力いただけるよう、推進活動を強化する。

#### イ 献血バスにおける普及啓発

献血バスで全血献血を協力いただいた献血者に献血ルームのチラシを配布し、献血ルームでの協力も依頼する。

#### 2 400mL献血の更なる推進

医療機関からの需要に応えるため、県、市町村及び血液センターは、献血受付時など多くの機会を捉えて広く400mL献血を呼びかけ、400mL献血の理解と協力を求める普及啓発事業を展開する。

実施事項	実施時期	内 容
		・400mL献血への理解と協力を求める広報活動やパンフレット等を活用した普及啓発の実施
		・献血受付における400mL献血誘引活動(ルーム)
400mL献血普及啓発	随時	・各種イベントにおける岩手県献血マスコットキャラクターを用いた400mL献血の普及啓発
		の実施
		・公共交通機関の車内広告を活用した献血思想の普及啓発

#### 3 ボランティア団体の育成

県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、ライオンズクラブ、学生ボランティア及びその他各種団体等に対し献 血制度の啓発を行い、献血ボランティア団体の育成を図る。

#### 4 血液製剤使用適正化の普及

県及び血液センターは、相互に連携し、医療機関や研修医等への啓発資材の配付等を通じ、血液製剤の使用指針等の普及啓発を行う。

さらに、合同輸血療法委員会により、血液製剤の適正使用の普及啓発を行う。

実施事項	実施時期	内 容
合同輸血療法委員会の開催	12日	・医療機関における血液製剤使用に係る調査等の実施
ロ内制皿療法安貝云の用作	12月	・講演会の開催等による血液製剤適正使用の啓発
- \	D+ D+	・県内医療機関、研修医及び岩手医科大学医学部学生へ血液製剤の適正使用に係る資料
血液製剤使用適正化推進	随時	等を配布

#### 5 複数回献血者の確保の強化

血液センターは、県及び市町村の協力を得て、複数回献血者の確保のため、献血Web会員サービス「ラブラッド」(旧複数回献血クラブ)の会員の確保を推進する。あわせて、新型コロナウイルス感染対策として、事前予約を広く周知する。(参考)ラブラッド登録者数:17,932人(令和4年12月現在)

実施事項	実施時期	内 容
複数回献血者の確保の強化	通年	・献血接遇時、リーフレットを使用して献血Web会員サービス「ラブラッド」(旧複数回
		献血クラブ)の会員を募集
		・献血のお願いはがきに会員登録用「二次元バーコード」の表記
		・年1~2回の献血協力者に対し、再度協力いただくようEメール等で依頼

#### 6 パンフレットを活用した献血協力団体及び複数回献血者の確保

県は、献血者を安定的に確保するため、献血協力団体募集パンフレット及び複数回献血者募集パンフレットを作成する。 県、市町村及び血液センターは、パンフレットを活用した普及啓発を行い新規協力団体の開拓及び複数回献血者の確保に 努める。

#### 7 その他

#### (1) 献血推進協議会等の開催

#### ア 献血推進協議会の開催

県及び血液センターは、献血思想の普及と血液事業の適正な運営を確保するため、岩手県献血推進協議会を開催し、 県内における輸血用血液の需要量見込み等を基に、岩手県の献血推進計画を検討、協議する。

また、市町村は、市町村献血推進協議会を設置するとともに、その活用に努める。

#### イ 献血推進担当者会議の開催

県及び血液センターは、市町村及び保健所等の献血推進担当者会議を開催し、献血推進の課題及び対応策等について研修及び意見交換等を行う。

#### (2) 献血受入環境の整備

血液センターは、献血者が協力しやすい環境を整備し、県及び市町村と調整のうえ、効果的な献血受入計画を立案する。

また、血液センターは、献血ルームにおける献血者の円滑な受入に配慮するため、献血者に安心・安らぎを与える環境整備の促進等を行い、機能強化に努める。

実施事項	実施時期	内 容
効果的な献血受入計画	通年	・献血協力者の動向等に十分配慮した献血受入計画の検討及び策定
		・企業献血の年間献血受入回数の更なる強化
		・企業のほか、組合や団体への働きかけを強化、新規協力団体の確保
		・大学、専門学校等での献血における、サークル等の集団献血の依頼の促進
		・成分献血者に対し、次回献血日の予約の依頼
献血ルームの機能強化	通年	・これまで以上に予約献血を推進し、医療機関で必要とする血液型別の血液確保に努め
		るとともに、混雑時の待ち時間の減少やソーシャルディスタンスを確保する。
		・新型コロナウイルス感染症等の新興・再興感染症の感染拡大の状況下においても、安
		定的に血液を確保ができるよう、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止対
		策を広く周知する。

#### 第3 その他献血の推進に関する重要事項

1 献血推進施策の進捗状況等に関する確認及び評価について

県は、市町村及び血液センターと適宜連絡調整し、献血推進施策の進捗状況について確認及び評価を行うとともに、必要に応じ献血推進施策の見直しを行う。

2 供給体制の整備と在庫管理について

県及び血液センターは赤血球製剤等の在庫水準を随時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を来す危険性を勘案し、必要に応じ所要の献血推進措置を講ずるものとする。

3 災害時等における献血の確保について

県及び市町村は、災害時あるいは新型コロナウイルス等感染症のまん延下であっても医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、報道機関の協力を得て献血会場の周知や献血啓発CMを行うとともに、献血への協力及び献血者の確保に取り組む。

血液センターは、新型コロナウイルス等感染症の感染拡大防止のため、献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用した事前予約の推進及び感染拡大防止に配慮した環境整備を行ったうえで献血を実施する。

また、県及び市町村は、血液センター等関係者と連携し、献血により得られた血液が円滑に現場に供給されるよう措置を講ずる。

## 03 市町村別献血目標

			l献血		成分献血
	200mL	400mL	合計	200mL換算(本)	
<b>蓝岡圏域</b>	189	8,127	8,316	16,443	0
蓝岡市保健所	119	5,117	5,236	10,353	0
<b>県央保健所</b>	70	3,010	3,080	6,090	0
雫石町	4	172	176	348	
滝沢市	22	946	968	1,914	
紫波町	11	473	484	957	
矢巾町	14	602	616	1,218	
葛巻町	3	129	132	261	
岩手町	6	258	264	522	
八幡平市	10	430	440	870	
中部保健所	118	5,074	5,192	10,266	0
花巻市	49	2,107	2,156	4,263	
遠野市	12	516	528	1,044	
北上市	55	2,365	2,420	4,785	
西和賀町	2	86	88	174	
奥州保健所	74	3,182	3,256	6,438	0
奥州市	63	2,709	2,772	5,481	
金ケ崎町	11	473	484	957	
一関保健所	67	2,881	2,948	5,829	0
一関市	64	2,752	2,816	5,568	
平泉町	3	129	132	261	
大船渡保健所	29	1,247	1,276	2,523	0
大船渡市	19	817	836	1,653	
陸前高田市	8	344	352	696	
住田町	2	86	88	174	
釜石保健所	20	860	880	1,740	0
釜石市	17	731	748	1,479	
大槌町	3	129	132	261	
宮古保健所	36	1,548	1,584	3,132	0
宮古市	24	1,032	1,056	2,088	
山田町	7	301	308	609	
岩泉町	4	172	176	348	
田野畑村	1	43	44	87	
入慈保健所	26	1,118	1,144	2,262	0
久慈市	19	817	836	1,653	
普代村	1	43	44	87	
洋野町	4	172	176	348	
野田村	2	86	88	174	
二戸保健所	24	1,032	1,056	2,088	0
二戸市	17	731	748	1,479	
軽米町	2	86	88	174	
九戸村	2	86	88	174	
一戸町	3	129	132	261	
<b></b> 市町村計	583	25,069	25,652	50,721	0
献血ルーム	316	5,446	5,762	11,208	11,077
合 計	899	30,515	31,414	61,929	11,077

### 岩手県献血推進要綱

(趣 旨)

第1 この要綱は、輸血用血液を献血によって確保し、 その供給の安定を図るため必要な事項について定めるも のとする。

(献血思想の普及及び組織の育成)

第2 岩手県(以下「県」という。)、市町村及び日本 赤十字社岩手県支部(以下「日赤県支部」という。)は、 広報活動を通じ献血思想の普及向上に努めるとともに、 地域、職域、学校及び各種団体等の献血組織の育成強化 を図るものとする。

(地方公共団体の業務)

第3 県は、岩手県献血推進協議会を設置するとともに、 県内における輸血用血液の需要見込量等をもとに献血計 画を策定し、献血の推進を図るものとする。

2 市町村は、市町村献血推進協議会の設置を促進するとともに、県の定める献血計画に基づき、その目標達成に努めるものとする。

(日赤県支部の業務)

第4 日赤県支部は、献血の受入れと供給業務を行うため、岩手県赤十字血液センター(以下「血液センター」という。)及び血液センター出張所を設置するとともに、その組織を通じ献血の推進に努めるものとする。

2 日赤県支部は、献血の推進に関する業務を行う献血推進専門員を設置するものとする。

(移動採血車の運行)

第5 血液センターは、県の定める献血計画に基づき、 保健所(支所)及び市町村と協議、調整し、移動採血車 の運行計画を策定するとともに、採血業務にあたるもの とする。

2 血液センターは、関係者の協力を得て、随時街頭献血を行うものとする。

(付 則)

この要綱は、昭和51年4月1日から施行する。

(付 則)

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

### 岩手県献血推進協議会設置要綱

(設置)

第1 献血思想の普及とその推進を図るため、岩手県献 血推進協議会(以下「協議会」という。)を設ける。 (所掌事務)

第2 協議会は次に掲げる事項を協議する。

- (1) 献血制度の広報活動に関すること。
- (2) 献血思想の普及に関すること。
- (3) 保存血液の需要計画に関すること。
- (4) 献血組織の育成に関すること。
- (5) その他献血制度の推進に関すること。

(組 織)

第3 協議会の委員は、32名以内で組織する。

- 2. 委員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。
- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医師会、薬剤師会から推薦を受けた者
- (3) 日赤岩手県支部事務局長及び血液センター所長
- (4) 商工会議所連合会、商工会連合会から推薦を受けた者
- (5) 市長会、町村会から推薦を受けた者
- (6) 労働組合、国民健康保険団体から推薦を受けた者
- (7) 高等学校長会、私学協会等教育機関及びPTA会から推薦を受けた者
- (8) 婦人会、青年団の団体から推薦を受けた者
- (9) 新聞、放送等報道機関から推薦を受けた者
- (10) 行政関係機関の職員
- (11) 献血に関するボランティア活動を行う者(役職)

第4 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2. 会長は、委員のうちから互選する。
- 3. 会長は、会務を総理し会議の議長となる。
- 4. 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 5. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第5 会議は知事が招集する。

(幹事)

第6 協議会に幹事若干を置く。

2. 幹事は県職員及び日赤岩手県支部職員のうちから会長が委嘱し、会長が命じた協議会の運営に必要な事項及び事務を行う。

(任 期)

第7 委員及び幹事の任期は2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は前任者の残任期間とする。 (庶務)

第8 協議会の庶務は、保健福祉部健康国保課において 処理する。

(その他必要事項)

第9 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会にはかって定める。

附則

この要綱は、昭和39年11月26日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和52年2月10日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和53年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成11年1月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年12月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年1月9日から施行する。

岩手県献血推進協議会委員名簿

(任期:令和4年2月17日~令和6年2月16日)

(12%) • [5/11   15/11		
役職名	氏	名
岩手医科大学医学部内科学講座血液腫瘍内科分野教授	伊藤	薫樹
岩手医科大学医学部麻酔学講座教授	鈴木	健二
岩手県立中央病院長	宮田	剛」
一般社団法人岩手県医師会長	本間	博
一般社団法人岩手県薬剤師会副会長	金澤	貴子
日本赤十字社岩手県支部事務局長	平野	直
岩手県赤十字血液センター所長	増田	友之
岩手県商工会議所連合会専務理事	菊池	透
岩手県商工会連合会事務局長	宗形	金吉
岩手県市長会(遠野市長)	多田	一彦
岩手県町村会(田野畑村長)	佐々オ	靖
日本労働組合総連合会岩手県連合会 (NTT労働組合 東北総支部岩手分会 分会長)	藤本	誠
岩手県国民健康保険団体連合会専務理事	内宮	明俊
岩手県高等学校長協会(盛岡南高等学校長)	阿部	圭次
一般社団法人岩手県私学協会理事(盛岡白百合学園中 学高等学校長)	浅沼	千明
岩手県高等学校PTA連合会事務局長	佐藤	尚
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長	大坊	邦子
岩手県青年団体協議会長	松田	恵美子
JA岩手県女性組織協議会副会長	菅原	情子
日本放送協会盛岡放送局副局長	田崎	博之
株式会社岩手日報社編集局次長	太田代	七 剛
株式会社IBC岩手放送報道制作局長	若槻	修
株式会社テレビ岩手報道制作局長	小形	恵一
株式会社岩手めんこいテレビ取締役報道担当	一戸	俊行
株式会社岩手朝日テレビ報道制作局報道制作部 (局次 長)	阿部	卓司
株式会社エフエム岩手常務取締役	松尾	尚人
陸上自衛隊岩手駐屯地業務隊長	和田	靖
イーハトーブ学生赤十字奉仕団代表	畠山	彩音
岩手県ふるさと振興部長	熊谷	泰樹
岩手県医療局長	小原	重幸
岩手県教育委員会教育長	佐藤	一男

### 岩手県合同輸血療法委員会設置要綱

H23.6.1制定 H29.3.6一部改正

(目的)

第1条 本会は、岩手県内における適正かつ安全な輸血療法の向上を目指すものとする。

(名称)

第2条 本会は、「岩手県合同輸血療法委員会」と称する。

(事業)

第3条 本会は目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 世話人会の開催
- (2) 岩手県合同輸血療法委員会の開催
- (3) その他、本会の目的を達成するために必要な 事業

(構成)

第4条 本会は、次に掲げる者によって構成する。

- (1) 岩手県内の医療機関の輸血療法関係委員会の長、 輸血責任医師及び輸血業務関係担当者等
- (2) 岩手県赤十字血液センター職員
- (3) 地方自治体の血液関係行政担当者
- (4) その他必要と認められる者

(役員)

第5条 本会役員として、代表世話人、世話人を置き、 また必要に応じて顧問を置く。

- 2 世話人は、主として次に掲げる者とする。
- (1) 岩手県内の主要医療機関の輸血療法関係委員 会の長、輸血責任医師及び輸血業務関係担当者
- (2) 岩手県赤十字血液センター所長
- (3) 岩手県医療局業務支援課職員
- (4) 岩手県保健福祉部健康国保課職員
- (5) その他必要と認められる者
- 3 代表世話人は、世話人の互選により定め、会を代表し、必要に応じて会議を招集し、議長となる。ただし、 代表世話人が互選される前に召集する会議は、健康国保 課総括課長が召集する。
- 4 顧問は、本会の運営に必要な助言を得るため、世話 人の推薦により定める。
- 5 役員の任期は、4月1日から翌々年の3月31日までの 2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で新た に就任した役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間 とする。

(運営)

第6条 本会の運営は、世話人会により決定する。 (会の開催)

第7条 世話人会は、年1回以上開催する。

第8条 岩手県合同輸血療法委員会は、年1回以上開催 する。

第9条 代表世話人は、本会構成員の他、意見等を聴くために必要があると認める者に出席させることができる。 (事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、岩手県保健福祉部 健康国保課及び岩手県赤十字血液センターに事務局を置 く。

(その他)

第11条 本要綱の変更等については、世話人会において協議し定める。

2 本要綱に定めるもののほか、運営等に必要な事項は世話人会において協議し、別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月1日から施行する。

附則

- 1 この要綱は、平成29年3月6日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、現に岩手県合同輸血療法委員会の役員である者の任期は、この要綱による改正後の岩手県合同輸血療法委員会設置要綱第5条第5項の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。

### 岩手県赤十字血液センター

所 在 地 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6地割1番地6

総 務 課 ☎019-637-7200 FAX 019-637-4371(事務室)

 岩手県赤十字血液センター盛岡大通り出張所 (愛称:もりおか献血ルーム メルシー)

所在地 〒020-0022

盛岡市大通り2丁目3-7「CT33」4階 ☎019-653-6511 FAX019-653-6558

岩手県赤十字血液センター奥州供給出張所

所在地 〒023-0062

奥州市水沢字小石田66-4

☎0197-47-4827 FAX0197-47-4874